

鹿大「進取の精神」支援基金
令和5年度
事業報告書

学生海外派遣事業
留学生受入推進事業

2023

はじめに

「鹿大『進取の精神』支援基金」によって平成28年度から開始した「学生海外派遣事業」「留学生受入推進事業」「若手研究者支援事業」は令和3年度に第1期が終了し、令和4年度から第2期が開始しました。本基金は、県内の経済団体、医療団体及び農水産業団体等を筆頭とする地域の皆様のご寄附によって実現したもので、本当に感謝に堪えません。

第2期におきましても第1期に引き続き、皆様のご支援を有効に活用していきたいと考えております。



グローバルセンター長
尾崎 孝宏

◆鹿大進取ホームページのリニューアルについて

本事業では、グローバルセンターが運営するプログラムについて、学内外に向け情報発信する目的でホームページを設けています。令和5年度はホームページを全面的にリニューアルし、紙幅の関係で本報告書に掲載しきれなかった学生からの感謝の声など、より詳しい情報を掲載しております。本報告書と合わせて、是非一度ホームページもご覧ください。



◆事業予算及び執行状況

鹿大「進取の精神」支援基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。令和5年度は総計約2,178万円を支出しました。

表1.令和5年度 事業予算及び執行状況（令和6年度執行含む）

単位（円）

	学生海外派遣事業	学生海外受入事業	合計
予算	22,580,000	12,420,000	35,000,000
執行状況	15,041,523	6,741,618	21,783,141 (円)

◆支援者数：学生の海外派遣数と海外学生の受入数

学生349名の国際活動に対して支援を行いました

鹿児島大学では皆様にご支援いただいた基金を活用し、留学等の国際活動を行う学生に対して支援・指導を実施しています。

表2.令和5年度 鹿大「進取の精神」支援基金による支援者数

種別	学生海外派遣事業				留学生受入推進事業			合計
	長期派遣留学	中期派遣留学	短期海外研修	語学力強化	研究留学生受入	協定校学部留学生受入	短期受入	
R5支援者数	24	20	122	161	2	2	18	349 (名)

◆支援学生の卒業、修了後の動向

これまで601名が支援をいただき、内112名が鹿児島県内に就職しています

表3.平成28～令和5年度学生海外派遣事業支援者の鹿児島県内就職先

病院 医療関係 37名	鹿児島大学病院（16）/鹿児島県立大島病院（5）/鹿児島医療センター（3） 南風病院（2）/今村総合病院（2）/愛育病院（2）/鹿児島市立病院（2） 伊集院産婦人科/霧島市立医師会医療センター/いまきいれ総合病院 寿レディースクリニック/鹿児島県保健師
県、市 JA等 35名	鹿児島県職員(13)/鹿児島県教員(8)/鹿児島市職員（6）/厚生労働省鹿児島労働局（2） 鹿児島地方裁判所/曾於市森林組合/JA鹿児島県連/薩摩川内市/日置市 鹿児島県森林整備公社
民間企業 38名	(株)新日本科学（4）/(株)健康家族（2）/リコーITソリューションズ(株)（2） (株)南日本放送（2）/SCSKニアショアシステムズ(株)/アサダメッシュ(株) いわさきグループ/イタリア料理イルチプレッソ/上野物産(株)/(株)鹿児島銀行/ 鹿児島日産自動車(株)/濱田酒造(株)/三井住友信託銀行(株)/島村楽器(株) (株)ジャパンファーム/(株)現場サポート/大福コンサルタント(株) (株)サタコンサルタント/(株)久永コンサルタント/鹿児島トヨタ自動車(株)/南国殖産(株) 南国交通(株)/(株)下園薩男商店/(株)ARS/(株)島津興業/(株)サナス/岩崎産業(株) 税理士法人押井会計/(株)JR鹿児島シティ/鹿児島トヨペット(株) (株)南日本銀行/ピクオス(株)
NPO法人 2名	NPO法人 心音/NPOグローバル・フォレスター
県内就職 112名	* 本基金による総支援者数 601名 (内訳：卒業・修了者数 508名、大学院進学者 93名)

(複数名の場合カッコ内に人数、それ以外は各1名)

学生海外派遣事業

(1)長期派遣留学：11カ国・地域、24名

1学期以上1年以内で、本学協定校へ24名の学生を派遣しました。留学準備から派遣期間、帰国後の事後学習において指導助言を行うメンター教員を各学生につける制度を今年度より開始しました。

表4.令和5年度 長期派遣留学（協定校派遣留学） 支援一覧

No.	派遣国・地域	派遣先機関	支援学生数	所属
1	オーストラリア	シドニー工科大学	3	法文学部
		ニューイングランド大学	1	農学部
2	イギリス	セントラル・ランカシャー大学	3	理工学研究科、法文学部
3	中国	中南大学	2	理工学研究科、法文学部
		上海海洋大学	1	農学部
4	アメリカ	ハワイ大学	1	教育学部
		サンノゼ州立大学	1	法文学部
		フロリダ農工大学	1	理工学研究科
5	イタリア	フィレンツェ大学	2	理工学研究科
6	マレーシア	マレーシアプトラ大学	2	法文学部
7	韓国	釜慶大学校	2	法文学部
8	タイ	メジョー大学	1	農林水産学研究科
		カセサート大学	1	法文学部
9	フランス	ボルドー・モンテーニュ大学	1	法文学部
10	ドイツ	オルデンブルク大学	1	農林水産学研究科
11	台湾	国立中興大学	1	法文学部

伝えよう！
鹿大生の海外体験



CLICK HERE

(2)中期派遣留学：4研修、6カ国・地域、20名

31日以上90日以下の海外研修で、授業として単位が付与される海外研修を「海外研修タイプB」と呼び、これを中期派遣留学として支援しています。授業担当教員が申請し、学生は大学在学期間中に1回だけ支援を受けることができます。

表5.令和5年度 中期派遣留学（海外研修タイプB） 支援一覧

No.	開講部局	学部・大学院別	授業科目名	担当教員	支援学生数	研修期間(自)	研修期間(至)	派遣国・地域
1	理工学研究科	大学院共通教育科目	STEMのための国際コミュニケーション海外研修(GOES)	古澤 仁	7	R5.7.15	R5.9.24	オーストラリア
2	共通教育センター	学部(高度共通教育科目)	グローバル実地研修 【地域人材育成プラットフォームがごしまグローバル教育プログラムの実地研修】	難波 美芸	5	R5.8.18	R5.9.24	オーストラリア
3	水産学部	学部(専門教育科目)	卒業プロジェクト	石崎 宗周	1	R5.9.2	R5.10.6	マレーシア
4	医学部	学部(専門教育科目)	選択実習	中村 雅之	1	R6.1.11	R6.3.10	インドネシア
					3	R6.3.8	R6.4.15	ドイツ
					1	R6.3.9	R6.5.19	カナダ
					2	R6.3.28	R6.6.5	米国
					中止	R6.2.28	R6.3.30	韓国

報告書



CLICK HERE

(3)短期海外研修：17研修、12カ国・地域、122名

30日以下の海外研修で、授業として単位が付与される海外研修を「海外研修タイプA」と呼び、この内、グローバル人材育成及び地域貢献を目的とする研修を対象に支援をしています。授業担当教員が申請し、最も多くの学生が支援を受けています。

報告書



CLICK HERE

表6.令和5年度 短期海外研修（海外研修タイプA） 支援一覧

No.	開講部局	学部・大学院別	授業科目名	担当教員	支援学生数	研修期間(自)	研修期間(至)	派遣国・地域
1	農林水産学研究科	大学院授業科目	Tropical Fisheries	石崎 宗周	2	R5.7.22	R5.8.2	フィリピン
2	歯学部	学部(専門教育科目)	海外歯科研修プログラムV	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	5	R5.7.30	R5.8.17	インドネシア
					中止	R5.9.5	R5.9.21	カナダ
					中止	R6.3.1	R6.3.8	台湾
3	歯学部	学部(専門教育科目)	海外歯科研修プログラムII	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	1	R5.8.5	R5.8.17	インドネシア
4	歯学部	学部(専門教育科目)	海外歯科研修プログラムIII	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	7	R5.8.5	R5.8.17	インドネシア
					2	R5.9.11	R5.9.19	韓国
					1	R6.2.21	R6.3.8	マレーシア
5	歯学部	学部(専門教育科目)	海外歯科研修プログラムIV	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	2	R5.8.5	R5.8.17	インドネシア
					1	R5.8.8	R5.8.23	インドネシア
					2	R6.2.22	R6.3.8	香港
					3	R6.3.1	R6.3.8	台湾
6	法文学部	学部(専門教育科目)	アクティブ・プログラム(フィールド研究)	西村 知	7	R5.8.21	R5.8.28	フィリピン
7	共通教育センター	学部(共通教育科目)	進取の精神海外研修inベトナム	山口 明伸	10	R5.8.26	R5.9.2	ベトナム
8	法文学部	学部(専門教育科目)	文化人類学実習1	兼城 糸絵 尾崎 孝宏	6	R5.8.27	R5.9.3	韓国
9	農学部	学部(専門教育科目)	海外研修	坂上 潤一	10	R5.9.11	R5.9.17	インドネシア
10	水産学部	学部(専門教育科目)	海外研修・実用英語(海外研修)	石崎 宗周	8	R5.9.13	R5.9.24	フィリピン
11	農学部	学部(専門教育科目)	国際森林論	加治佐 剛	9	R5.9.15	R5.9.28	ドイツ
12	農林水産学研究科	大学院授業科目	海外森林・林業事情	加治佐 剛	3	R5.9.15	R5.9.28	ドイツ
13	理工学研究科	大学院授業科目	国際学会特別研修	金子 芳郎	22	R5.12.9	R5.12.17	台湾
14	歯学部	学部(専門教育科目)	海外歯科研修プログラムVI	平間 雅博 西谷 佳浩 犬童 實子 三浦 裕仁	6	R6.2.5	R6.2.21	カナダ
15	共同獣医学部	学部(専門教育科目)	国際獣医学インターンシップA	有村 卓朗	3	R6.2.23	R6.3.11	フランス
16	共通教育センター	学部(共通教育科目)	グローバル人材育成(雲南)	兼城 糸絵	5	R6.3.1	R6.3.13	中国
17	保健学研究科	大学院授業科目	実践助産学演習	山本 直子	7	R6.3.13	R6.3.20	イギリス
中止	共通教育センター		海外インターンシップ	中谷 純江	中止	R5.9.2	R5.9.25	米国
中止	農林水産学研究科		国際バイテク・リーダー育成	花城 勲	中止	R6.2.14	R6.2.25	タイ
中止	共通教育センター		国際感覚を持つバイテク人材育成	花城 勲	中止	R6.2.14	R6.2.25	タイ

(4)語学力強化プログラム（協働語学学習グロスペ外国語、オンライン学習事業）

海外活動の事前準備教育として、必要な語学力の向上を目的に実践的な英語学習の機会を提供しました。オンラインを活用し海外の講師のマンツーマン指導を受ける新システムを導入したことで、学生の積極的な参加が見られ、89名を支援しました。

また、海外活動の質を高める事前準備教育として「グロスペ外国語」を週1回90分、13コースで後期に実施し、チューター役をつとめる外国人留学生への謝金を本基金で支援しています。計72名（学生61名、チューター11名、4ヶ国語）が対面で参加し、協働語学学習を行いました。

担当教員レポート



長期派遣留学 担当
グローバルセンター 講師 難波 美芸

昨年度は24名の学生が欧米アジア11カ国の協定校に留学し、貴重な経験を積むことができました。留学先では、語学の習得はもちろんのこと、異文化交流を通じて視野を広げ、大きく成長しました。帰国後の報告会では、各自が得た洞察や挑戦を乗り越えた経験、現地で実施した研究内容を発表することでオーディエンスと共有し、その成果を実感することができました。これらの経験は、学生たちの未来に大きな影響を与えることでしょう。引き続きのご支援に心より感謝申し上げます。



短期海外研修 進取の精神海外研修inベトナム 担当
ベトナム事務所長 教授 山口 明伸

ベトナム企業（Weather plus）、ベトナムに進出している日本企業（京セラベトナム、ベトナムキューデンイノバテックベトナム）、ベトナムで活動しているJICA事務局への見学では責任者との交流を通じて、ベトナムの発展に取り組んでいるベトナム人と日本人自らの経験から高い目標に挑戦し、困難に負けずに努力し続ける「進取の精神」を学ぶことができました。

今後も継続的に、多くの学生がこのような海外研修に参加できるよう実施していきたいと考えております。ご寄附いただいた皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。

参加学生レポート



長期派遣留学 ハワイ大学マノア校
教育学部4年 馬見塚 優也

USA Hawaii

私は、2023年8月から2024年5月まで米国のハワイ大学マノア校に留学していました。大学では、自分が専攻する特別支援教育や障害科学の講義のほかに、留学生向けの英語の講義をいくつか受講しました。異文化の中での間違いや失敗を乗り越えた経験は、「初めから正解を選ばなくてもいい。間違ってもいいんだ!」という気付きを私に与え、教育者として一層成長することができたと感じています。また、第二言語を使用して生活する経験は、私の専門でもある読み書きに苦労する学習障害のある子どものことをより深く理解する上で役に立っています。留学を通して得られた気付きや学びを今後の教育実践に生かしていきたいと考えています。





中期派遣留学 グローバル実地研修
法文学部4年 鳥居 智花衣

Australia

パース研修は、私にとって初めての海外経験でしたが、事前学習や、各種手続きも、サポートを受けながら安心して行うことができました。現地では、語学学校だけでなく、西オーストラリア大学の日本文化サークルJSSの活動にも参加し、世界中から来た学生と交流する中で多国籍国家オーストラリアならではのさまざまな文化に触れて、外国の良さだけでなく、逆に日本の良さも再認識することができました。また、英語学習に対するモチベーションも飛躍的に向上し、TOEICや、就職活動においても、大いに活用することができました。



短期海外研修 海外森林・林業事情
農林水産学研究科2年 有元 かれん

Germany

私はこのドイツ実習が初めての海外だったので、初めはとても不安でした。日本語が通じない場所で、知っている人も少なく、2週間をやり切れるのかと色々なことを考えていました。しかし、2週間はとてもあっという間で、ドイツの森林について英語での講義では少しずつ聞き取れるようになったり、他大学の人も一緒にいる時間が長いので仲良くなったりとても良い経験になりました。また、自由時間には本場のサッカーを観に行ったり、川沿いを散歩しながらビールを飲んだり、日本に帰りたくないと思えるほど楽しかったです。今回の実習を通して、何かにチャレンジすることで新しい経験に繋がると実感できたことが自分の成長に繋がったと思います。



短期海外研修 海外研修・実用英語（海外研修）
水産学部3年 長井 双花

Phillippines

今回の研修は、マニラの公設市場の見学、パブリックマーケットの見学、ギマラス島の養殖場の見学等を行い、日本とフィリピンの水産物の販売の仕方の違いや仕組み、消費について学び、英語で発表するというものでした。実際に現地の水産物売り場や、養殖場に行くことで写真や動画では感じることはできない匂いや、味、気候などを知ることができました。特に、seafdecに見学に行けたことは水産学部の学生として非常にいい経験になり、水産学を学ぶ事に対するモチベーションになりました。現地の職員の方に英語で質問するのは勇気がいりましたが、丁寧に教えてくださり英語に対しても自信がつかしました。



留学生受入推進事業

(1) 研究留学生受入推進プロジェクト：インドネシア 2名

本プロジェクトは、優秀な留学生を鹿児島に受け入れ、地域に関連した研究指導・実地体験を通して出身国と鹿児島を繋ぐグローバル人材を育成し、地域活性化に貢献することを目指しています。

令和5年度は募集に対し3プログラムの応募があり、選考の結果、医学部医学科の1プログラムが採用され2名が来鹿しました。約半年の滞在期間中は、留学生と日本人学生が共通課題の研究プロジェクトに参画したり、合同のカンファレンスをしたりと、鹿児島で相互交流しながら学びを深めました。

表7.令和5年度 研究留学生受入推進プロジェクト 支援一覧

国・協定校	人数	研究分野	所属	受入教員
インドネシア ディポネゴロ大学	2名	脳神経外科学、リハビリテーション医学、公衆衛生学	医学部	花谷 亮典

報告書



CLICK HERE

(2) 協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト：米国 2名

本プロジェクトでは、海外の協定大学で日本語・日本学関連分野を学ぶ学部学生を鹿児島大学で受け入れます。日本語力の向上を目指すとともに、実地体験や地域交流活動を通して出身国と鹿児島を繋ぐグローバル人材を育成すること、双方地域の活性化に貢献することを目指しています。

令和5年度は、日本学関連分野を学ぶ米国大学の学生2名を受け入れました（内1名は令和4年度からの継続）。日本語・異文化理解に対する学びを深めながら、鹿児島での生活体験を元にした鹿児島情報を複数言語（日・英・韓）で発信するというプロジェクトを行いました（Web：Ryugakusei life）。

表8.令和5年度 協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 支援一覧

国・協定校	人数	研究分野	所属	受入教員
米国 ハワイ大学マノア校	1名	演劇舞蹈学 日本語、日本文化	法文学部	竹内 勝徳
米国 ジョージア大学	1名 *R4継続	経済 日本語、日本文化		西村 知

報告書



CLICK HERE

Ryugakusei Life_HP



CLICK HERE

(3) 短期受入：米国・中国 22名

短期受入では、米国ノースダコタ州立大学（NDSU）からの12名を理工学研究科で、中国雲南農業大学からの10名（内、本事業で6名）を農学部で受け入れ、本学日本人学生と共に双方向交流に基づく国際共修を鹿児島で行いました。

NDSU：2023年11月5日～12日（金子研究室）

雲南農業大学：2023年12月4日～12日（兼城研究室）

参加留学生レポート（報告書より一部抜粋）



研究留学生受入推進プロジェクト
ディポネゴロ大学 Santun Bekti Listiaji

Through this exchange program, I write a two scripts of article. Not only academic, I also learned about Japanese culture and language. And visited many famous tourist attractions in Kagoshima. If I have the opportunity in the future, I will choose Neurosurgery Department, Kagoshima University, to continue my studies to PhD. I want to thank all the individuals who have contributed to my life in a meaningful way, both directly and indirectly.



研究留学生受入推進プロジェクト
ディポネゴロ大学 Sarah Arya Ramadhany

I had the chance to deepen my knowledge about neurosurgery and gain research experience at Kagoshima University as part of a student exchange program in 2023, which was one of my dreams come true. The valuable experiences I gained from this program have inspired me to contribute to neurosurgery and neuroscience research in my country. I am thankful to all who have played a meaningful role in shaping my youth.

from
Indonesia



協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト
ハワイ大学マノア校 Clayton Searcy

鹿児島にいる間、時間が経つのが非常に早かった。しかし、同時に最初についた日のことを振り返ったら、既に遠い昔のことのように。鹿児島で過ごした時間は素晴らしいの一言に尽きる。この短い時間に様々なすごいことができた。会館に住みながら、様々な国の人と友達になった。鹿児島で会った素晴らしい人々のおかげで、地域の一員になれたと思う。ハワイ大学の同級生はみんな東京に行ったので、来日前は一人だけ遠く離れていることで孤立感を感じるかもしれないと思っていた。しかし、結局、鹿児島を選んだことを後悔した瞬間は一度もなかった。学期が終わるので、もうすぐ帰国しなければならないという寂しい実感が湧いてきた。しかし、将来また戻ってくることを確信している！

from
USA Hawaii



ご支援いただいたプロジェクト、研修の様子



令和5年8月
進取の精神海外研修inベトナム



令和6年2月
国際獣医学インターンシップA
(フランス)



令和5年8月
文化人類学実習1 (韓国)



令和5年12月
国際学会特別研修 (台湾)



令和6年3月
実践助産学演習 (イギリス)



令和5年11月
NDSU (米国) 鹿児島研修



令和5年12月
雲南農業大学 (中国) 鹿児島研修

たくさんのご支援を
ありがとうございました

Webサイトのご案内



鹿大「進取の精神」支援基金
学生海外派遣事業、留学生受入推進事業Webサイト
<https://shinshu.gic.kagoshima-u.ac.jp/>

CLICK HERE 



鹿大「進取の精神」支援基金
基金メインWebサイト
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/cat1352/post-19.html>

鹿大「進取の精神」支援基金 令和5年度 事業報告書

学生海外派遣事業、留学生受入推進事業

発行日 令和6年9月
発行者 鹿児島大学グローバルセンター
〒890-0065
鹿児島県鹿児島市郡元1-21-30
099-285-7017
global2@gic.kagoshima-u.ac.jp

